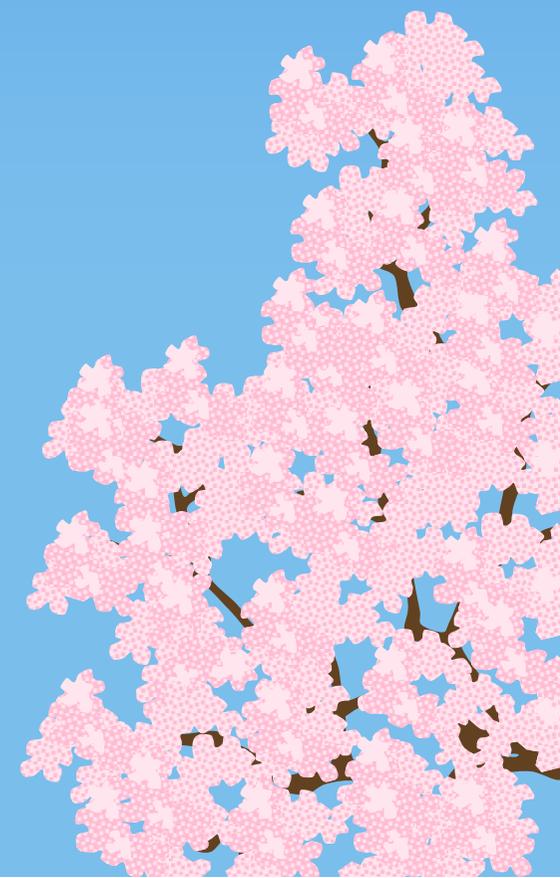
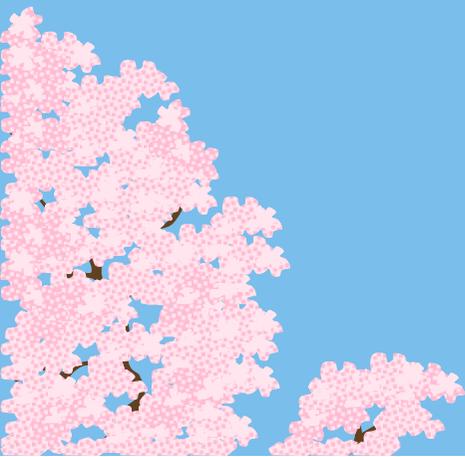


新人看護研修からの学び

4階病棟 看護師



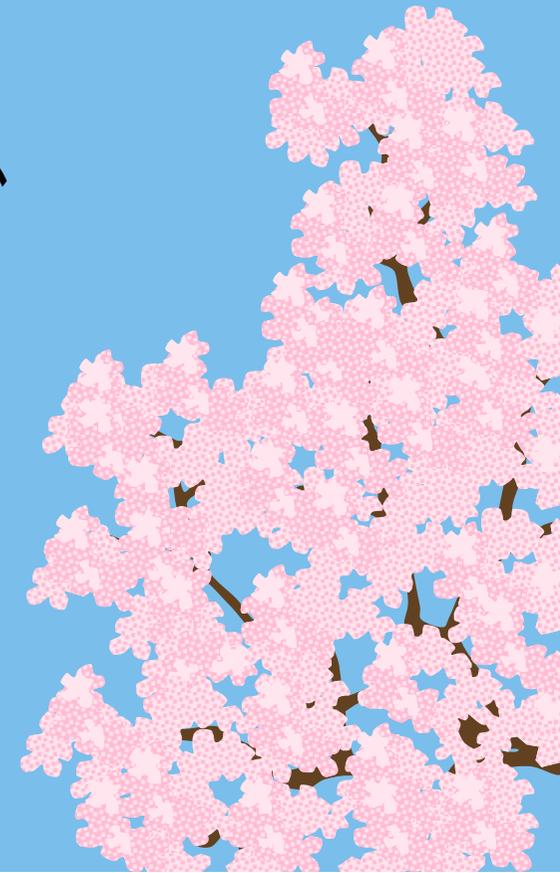
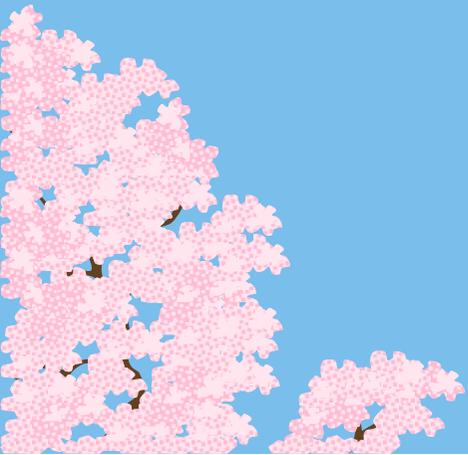
印象に残ったこと

- ❖ ペーシエントからパーソンへの挑戦
患者を我慢する人(ペーシエント)ではなく
かけがえのない一人の人(パーソン)であるように、
挑戦することは困難を伴うが価値のあること
私たちのケアの対象は普通の人であること

* かけがえのない...それだけしかない、大切な。
ほかに代わるものがない

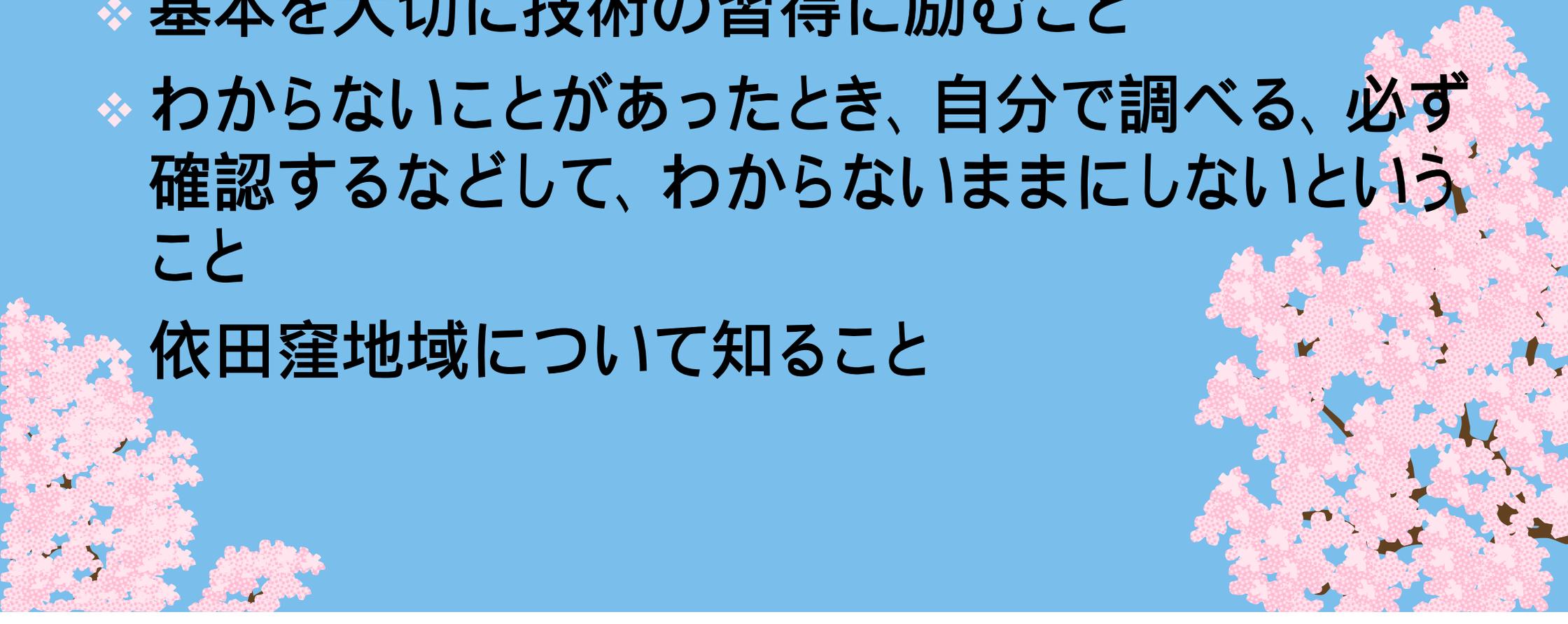
医療の対象としての<普通の人々>

- ❖ (私たち医療者は)
普通の人々に出会い、
その人生に触れ、
その結果、その人たちの人生が変わり、
そして、自分の人生も変わるのである



これから大切にしていきたいこと

- ❖ 挨拶は自分からすること
 - ❖ 笑顔を忘れずに人と接すること
 - ❖ 基本を大切に技術の習得に励むこと
 - ❖ わからないことがあったとき、自分で調べる、必ず確認するなどして、わからないままにしないということ
- 依田窪地域について知ること



そして、

- ❖ “**かけがえのない一人の人**”を看護させていただくという気持ちを持ち続けること

患者さんは、今までの生活を中断して治療のため“入院”という非日常の世界へ来ている。

しかし、入院生活は日常生活の延長でもある。

→治療行為にだけ目を向けず、患者さんのその人らしさ、日常生活を支え、退院へと心身ともに向かっていけるよう、援助できる看護師になりたい。